

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

1. アジアの列強をめざして 教P176～177

帝国主義 イギリス対ロシア

たくさん作ってたくさん売る！

- ・ 19世紀後半～

欧米諸国 () : 資本主義がいちじるしく発達



国家と企業が一体となり工場や鉱山などを経営し、
軍事力を強めて植民地支配を行う動き

↓ = ()

欧米諸国の植民地獲得競争へ

※イギリスとロシアの対立



イギリスが日本に好意的に

ロシアのアジア進出を警戒
日本と良好な関係を結びたい

列強 (great power, major power)

世界規模の影響力を持つ国家のこと

教科書P176左上

『① 1910年代の世界』も

見ておこう！

※特に東南アジア・南アジアの
状況は聞かれることも・・・

条約改正への努力

- ・ 条約改正の動き

1872年：岩倉使節団で失敗

() : 鹿鳴館で舞踏会

※日本の「文明国化」をアピールも国民の反発で失敗

ノルマントン号事件(1886年) : ←教科書P176『③ノルマントン号事件』

領事裁判権廃止を求める世論

イギリスの対ロシア対策

1894年：日英通商航海条約結ばれる。



領事裁判権の廃止

() 外相)

※他国とも条約改正・・・関税自主権の回復が課題

教科書P177

『⑦条約改正への歩み』も見ておこう！

朝鮮をめぐる東アジアの情勢

- ・ 日朝修好条規の朝鮮 ←日本、朝鮮半島に影響力を広げたい・・・
守旧派と開化派の対立(甲申事変)：日本の朝鮮半島進出を阻む
※日本で「脱亜論」が登場

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

1. アジアの列強をめざして 教P176～177

帝国主義 イギリス対ロシア

たくさん作ってたくさん売る！

- ・19世紀後半～

欧米諸国（**列強**）：資本主義がいちじるしく発達



国家と企業が一体となり工場や鉱山などを経営し、
軍事力を強めて植民地支配を行う動き

↓ = （**帝国主義**）

欧米諸国の植民地獲得競争へ

※イギリスとロシアの対立



イギリスが日本に好意的に

ロシアのアジア進出を警戒
日本と良好な関係を結びたい

列強 (great power, major power)

世界規模の影響力を持つ国家のこと

教科書P176左上

『①1910年代の世界』も

見ておこう！

※特に東南アジア・南アジアの
状況は聞かれることも・・・

条約改正への努力

- ・条約改正の動き

1872年：岩倉使節団で失敗

（**欧化政策**）：鹿鳴館で舞踏会

※日本の「文明国化」をアピールも国民の反発で失敗

ノルマントン号事件（1886年）： ←教科書P176『③ノルマントン号事件』

領事裁判権廃止を求める世論

イギリスの対ロシア対策

↓
1894年：日英通商航海条約結ばれる。



領事裁判権の廃止

（**陸奥 宗光** 外相）

※他国とも条約改正・・・関税自主権の回復が課題

教科書P177

『⑦条約改正への歩み』も見ておこう！

朝鮮をめぐる東アジアの情勢

- ・日朝修好条規の朝鮮 ←日本、朝鮮半島に影響力を広げたい・・・
守旧派と開化派の対立（甲申事変）：日本の朝鮮半島進出を阻む
※日本で「脱亜論」が登場

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

2. 朝鮮をめぐる対立・日清戦争 教P178～179

甲午農民戦争・日清戦争

・19世紀末

朝鮮国内の混乱：重税・凶作・

日本の商人の米買い占め

※農民を中心に政治や外国勢力への不満

1894年：東学を信仰する農民たちが反乱を起こす
()

朝鮮

清に援軍を要請
農民軍と和解

派兵

日本

日本と清の対立深まる

7月～() 始まる

※近代装備で勝る日本が勝つ

1895年：() 結ばれる

教科書P178

①「魚釣り遊び」を見ておこう！

※3人の人物、魚が
どの国を表しているかが
ポイント！

中国と朝鮮の関係って？

- ・清は朝鮮の独立を認める → ということ？
- ・遼東半島・台湾・澎湖列島を日本へゆずる
- ・清は賠償金2億両を支払う→日本の工業化、軍事力強化の資金へ

☆教科書P178②日清戦争の地図で

「下関条約」が結ばれた場所（要するに下関）、
「遼東半島」「台湾」の場所を確認しておく！

☆教科書P179⑥日清戦争の賠償金の使いみち も
見てみよう！

※大部分が軍事費関係ですね・・・

～続く～

三国干渉と列強の清への進出

- ・下関条約：日本が遼東半島を獲得



- ()：ロシアがフランス・ドイツとともに
日本に遼東半島返還を要求

※ロシアのねらいは？

日本、遼東半島を返還

※国内でロシアへの不満高まる。

☆教科書P 178

①「魚釣り遊び」を思い出して
ね！

☆その後、ロシアは清に対
してどんな行動をしたの？

- ・清の敗北：欧米諸国の清への進出加速



ロシアが遼東半島を租借

ドイツ・フランス・イギリスも
租借地拡大

教科書P 179

「④欧米諸国の清への進出」を
見てね！

※特にロシア（遼東半島）と
ドイツ（青島）に注目・・・

日清戦争後の政策

- ・日清戦争の結果

①朝鮮：清から独立・・・ロシアに接近

※1897年～ 大韓帝国（韓国）

②日本と清の関係：朝鮮・琉球問題の解消

③日本：台湾総督府による台湾の植民地支配

政府と政党の連携進む（軍備拡張で意見が一致）

日本を警戒

国王 → 皇帝



1900年：伊藤博文が立憲政友会を結成

※政党政治の基礎が築かれる

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

2. 朝鮮をめぐる対立・日清戦争 教P178～179

甲午農民戦争・日清戦争

・19世紀末

朝鮮国内の混乱：重税・凶作・

日本の商人の米買い占め

※農民を中心に政治や外国勢力への不満

1894年：東学を信仰する農民たちが反乱を起こす
(甲午農民戦争)

朝鮮

清に援軍を要請
農民軍と和解

派兵

日本

日本と清の対立深まる

7月～ (日清戦争) 始まる

※近代装備で勝る日本が勝つ

1895年： (下関条約) 結ばれる

教科書P178

①「魚釣り遊び」を見ておこう！

※3人の人物、魚が
どの国を表しているかが
ポイント！

中国と朝鮮の関係って？

・清は朝鮮の独立を認める → ということ？
・遼東半島・台湾・澎湖列島を日本へゆずる
・清は賠償金2億両を支払う→日本の工業化、軍事力強化の資金へ

☆教科書P178②日清戦争の地図で
「下関条約」が結ばれた場所（要するに下関）、
「遼東半島」「台湾」の場所を確認しておく！

☆教科書P179⑥日清戦争の賠償金の使いみちも
見てみよう！

※大部分が軍事費関係ですね・・・

～続く～

三国干渉と列強の清への進出

- ・下関条約：日本が遼東半島を獲得



(三国干渉) : ロシアがフランス・ドイツとともに
日本に遼東半島返還を要求

※ロシアのねらいは？

日本、遼東半島を返還

※国内でロシアへの不満高まる。

☆教科書P 178

①「魚釣り遊び」を思い出して
ね！

☆その後、ロシアは清に対
してどんな行動をしたの？

- ・清の敗北：欧米諸国の清への進出加速



ロシアが遼東半島を租借

ドイツ・フランス・イギリスも
租借地拡大

教科書P 179

「④欧米諸国の清への進出」を
見てね！

※特にロシア（遼東半島）と
ドイツ（青島）に注目・・・

日清戦争後の政策

- ・日清戦争の結果

①朝鮮：清から独立・・・ロシアに接近

※1897年～大韓帝国（韓国）

②日本と清の関係：朝鮮・琉球問題の解消

③日本：台湾総督府による台湾の植民地支配

政府と政党の連携進む（軍備拡張で意見が一致）

日本を警戒

国王 → 皇帝



1900年：伊藤博文が立憲政友会を結成

※政党政治の基礎が築かれる

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

3. 世界が注目した日露戦争 教P180～181

義和団の抵抗

- ・清の敗北：欧米諸国の中国進出本格化

↓
ロシア、ドイツ、フランス、イギリスが清の各地で租借地

前回の復習ですね！

↓
清で、外国勢力を追い払おうとする動き

※ 1899年 義和団が蜂起 ← 日露など8カ国の軍が鎮圧
()

日本軍が全体の3割を占める

日露戦争・条約改正の達成

- ・義和団事件後もロシアが「()」を占領

※日、英ともにロシアの南下を阻止したい

↓
1902年：() 成立

※日本とロシアの対立深まる
開戦を主張する声強まる

教科書P181上

『日露戦争をめぐるさまざまな意見』も
見てね！

※戦争反対の声も・・・内村鑑三、幸徳秋水、与謝野晶子など

↓
1904年：() 始まる

教科書P180

③日露戦争における軍事費
も見てね！

※アメリカも「満州」に関心
日本に資金援助

教科書P180②日露戦争

遼東半島から満州が主戦場ですね

日本：戦争の長期化で兵力・物資不足 } 戦争継続
ロシア：革命運動 } 困難に

教科書P180左下 ④日清・日露戦争の比較 を見よう！

※動員兵数（何人戦争に参加したの？）、死者
戦費ともに日露戦争がすごく多いよね！

↓
1905年：() 結ばれる（アメリカの仲立ち）

- ・韓国における日本の優越権
- ・南満州、遼東半島の権利、日本へ → 「満州」支配でアメリカと対立へ
- ・南樺太を日本へ
- ・賠償金なし→日比谷焼き討ち事件へ

地図で場所も
確認しておこう！

※日本を外国に認めさせる結果に！

↓
1911年：関税自主権の回復（ ） 外相（ ）
※欧米との（ ） 達成

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

3. 世界が注目した日露戦争 教P180～181

義和団の抵抗

- ・清の敗北：欧米諸国の中国進出本格化

↓
ロシア、ドイツ、フランス、イギリスが清の各地で租借地

前回の復習ですね！

↓
清で、外国勢力を追い払おうとする動き

※ 1899年 義和団が蜂起 ← 日露など8カ国の軍が鎮圧
(義和団事件)

日本軍が全体の3割を占める

日露戦争・条約改正の達成

- ・義和団事件後もロシアが「(満州)」を占領

※日、英ともにロシアの南下を阻止したい

↓
1902年：(日英同盟) 成立

※日本とロシアの対立深まる
開戦を主張する声強まる

教科書P181上

『日露戦争をめぐるさまざまな意見』も
見てね！

※戦争反対の声も・・・内村鑑三、幸徳秋水、与謝野晶子など

↓
1904年：(日露戦争) 始まる

教科書P180

③日露戦争における軍事費
も見てね！

※アメリカも「満州」に関心
日本に資金援助

教科書P180②日露戦争

遼東半島から満州が主戦場ですね

日本：戦争の長期化で兵力・物資不足 } 戦争継続
ロシア：革命運動 } 困難に

教科書P180左下 ④日清・日露戦争の比較 を見よう！

※動員兵数(何人戦争に参加したの？)、死者
戦費ともに日露戦争がすごく多いよね！

↓
1905年：(ポーツマス条約) 結ばれる(アメリカの仲立ち)

- ・ 韓国における日本の優越権
- ・ 南満州、遼東半島の権利、日本へ → 「満州」支配でアメリカと対立へ
- ・ 南樺太を日本へ
- ・ 賠償金なし→日比谷焼き討ち事件へ

地図で場所も
確認しておこう！

※日本を外国に認めさせる結果に！

↓
1911年：関税自主権の回復(小村 寿太郎 外相)

※欧米との(条約改正) 達成

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

4. むりかえられたアジアの地図 教P182～183

変わるアジアの意識

- ・日露戦争での勝利：アジアに独立への希望・自信



帝国主義国として動き加速



※ 日本の帝国主義への失望
国内にアジアへの優越感

教科書P183右上

交流 日本と中国を
つないだ人々

教科書P183右

『日本に対するアジア諸国の2つの感情』

韓国併合と植民地・「満州」での政策

①韓国をめぐる動き

1905年：日本、韓国を保護国に



↑ (韓国統監、伊藤博文←1909年 安重根が暗殺)
韓国で激しい抵抗

1910年：()

- ・韓国を植民地に(朝鮮と改称)
- ・朝鮮総督府による統治
- ・日本語や地理・歴史の授業
- ・土地調査による土地の没収 中作人となる者・日本や「満州」に移住する者も

教科書P182 右上

『韓国併合をよんだ短歌』
※石川 啄木 有名！

②台湾をめぐる動き

日本企業による製糖業の支配

③「満州」をめぐる動き

1906年：南満州鉄道株式会社が発足

↳ 南満州鉄道、炭鉱、製鉄所の経営

保護国：保護を名分とした条約により、他国に干渉、とくに外交処理を代わりに行なわれる国家。

併合：ある国の領土の全部または一部が、他国の完全な主権下に置かれること。主権の完全移行を伴わない占領や保護国・保護領化、租借とは区別される。

アジア初の共和国

- ・1895年：
中国で()が最初の挙兵に失敗



日本、欧米へ亡命

※1900年頃、()

- ・民族の独立
- ・民主政の実現
- ・国民生活の安定

()を唱える

- ・1911年：軍の反乱→革命へ発展、



- ・1912年：孫文を臨時大総統に迎え、

南京で()

()成立を宣言

※袁世凱が大総統になり清を滅ぼす



独裁政治を始め、中国混乱(1916年死去)

教科書P196、200～続く……

第5部 近代国家の歩みと国際社会

第5章 帝国主義と日本

4. むりかえられたアジアの地図 教P182～183

変わるアジアの意識

- ・日露戦争での勝利：アジアに独立への希望・自信



帝国主義国として動き加速



※ 日本の帝国主義への失望
国内にアジアへの優越感

教科書P183右上

交流 日本と中国を
つないだ人々

教科書P183右

『日本に対するアジア諸国の2つの感情』

韓国併合と植民地・「満州」での政策

①韓国をめぐる動き

1905年：日本、韓国を保護国に



↑ (韓国統監、伊藤博文←1909年 安重根が暗殺)
韓国で激しい抵抗

1910年：(韓国併合)

- ・韓国を植民地に(朝鮮と改称)
- ・朝鮮総督府による統治
- ・日本語や地理・歴史の授業
- ・土地調査による土地の没収 中作人となる者・日本や「満州」に移住する者も

教科書P182 右上

『韓国併合をよんだ短歌』
※石川 琢木 有名！

②台湾をめぐる動き

日本企業による製糖業の支配

③「満州」をめぐる動き

1906年：南満州鉄道株式会社が発足

↳ 南満州鉄道、炭鉱、製鉄所の経営

保護国：保護を名分とした条約により、他国に干渉、とくに外交処理を代わりに行なわれる国家。

併合：ある国の領土の全部または一部が、他国の完全な主権下に置かれること。主権の完全移行を伴わない占領や保護国・保護領化、租借とは区別される。

アジア初の共和国

- ・1895年：
中国で(孫文)が最初の挙兵に失敗



日本、欧米へ亡命

※1900年頃、(三民主義)を唱える

- ・民族の独立
- ・民主政の実現
- ・国民生活の安定

- ・1911年：軍の反乱→革命へ発展、



- ・1912年：孫文を臨時大総統に迎え、

南京で(中華民国)成立を宣言

※袁世凱が大総統になり清を滅ぼす



独裁政治を始め、中国混乱(1916年死去)

教科書P196、200～続く……

アジア初の共和国

(辛亥革命)